

2023 年度 高校入試問題（社会）の解説

◎地理

【1】世界地理に関する出題です。世界の国々に関してどれだけ学習できているかを問う問題であり、特にヨーロッパの国々と各国の特色や時事問題に関する基本的な地理の問題を出題しています。

問1～問8までは国名や地名を答える問題が中心です。2022年2月末に起こったロシアのウクライナ侵攻に関しても触れています。

問9～問11はEU（ヨーロッパ連合）や環境問題についての基本的な問題です。

◎前近代（歴史）

【2】年表を主体とした古代の歴史に関する出題です。時代の流れ、国際関係、都の変遷について理解できているかを問う問題です。

問1～問8までは、基本的な歴史用語やそのできごとが起こった年（西暦）などを問う問題です。問9の平城京～長岡京への都の遷り変わりに関しては、やや難しいかもしれません。長岡京と平安京を間違えないようにしましょう。

問10～問12は、東大寺や唐招提寺など寺院に関する問題です。

【3】中世の歴史に関する出題です。鎌倉時代初めの御成敗式目（貞永式目）の史料原文と訳文を読みながら、「守護の仕事」をキーワードに、問1～問5まで解けるようになっていきます。また、先に設問を読むことにより、この史料が御成敗式目（貞永式目）を指していることが分かります。問6に関しては、13世紀のできごとでないものを選ぶので注意が必要です。この問題の場合、(エ)だけが14世紀の建武の新政を指しており、誤っています。(ア)～(ウ)に関しては、全て13世紀に起こったできごとです。

◎近現代（歴史）

【4】幕末から明治時代にかけての3人の人物写真に関連する出題です。問2は問題文をよく読めば正解を導ける問題です。写真A～Cの人物は、それぞれ大久保利通、伊藤博文、与謝野晶子であり、近代史を代表する著名な人物ばかりです。問6の立憲政友会はやや難しいと思いますが、教科書をしっかり読み込めていれば答えることのできる問題です。与謝野晶子の反戦詩は日露戦争と関連があり、よく知られていますので、問8は基本的な問題です。問9はそれぞれの事象がいつ起こっているのか、時代の流れをよく理解できていないと答えられない問題です。(ア)は日清戦争のきっかけとなった事件、(イ)は日中戦争のきっかけとなった事件、(ウ)は義和団事件に関する記述、(エ)は満州事変の始まりとなった事件と読み取り並べ替えましょう。(ウ)が日清戦争後の中国分割が遠因となって起こったできごとであると理解できると(ア)と(ウ)の時代の前後が分かると思います。

◎公民

【5】人権保障の流れと条文に関する出題です。

問1は、条文資料を読み、条文の内容や適切な資料を選択する問題です。各資料に書かれている人権の内容や資料成立の背景を理解することで、条文内容を選択することができます。時代背景を理解していれば年代からも判断をすることができます。

問2・問3は、日本国憲法に関する出題です。問2は「生存権」規定に関する条文の内容を答える問題です。問3は「自由権」に関する問題です。「3つの自由」の名称とそれに関わる具体的内容（条文や訴訟・事例）などを整理する必要があります。

【6】日本の政治制度に関する出題です。

問1・問2は、基本的な語句を答える問題です。正しい漢字で書けるよう注意が必要です。問2の国会の種類に関する問題では、大きく4種類ある国会の名称と召集方法・主な議題を整理する必要があります。

問3は、権力の均衡と抑制（チェックアンドバランス）に関する問題です。今回は国会（立法）と内閣（行政）の関係ですが、裁判所（司法）を含めて重要な分野になるので確認しておきましょう。

問4は、衆議院選挙の比例代表制に関する計算問題です。選挙制度については衆議院・参議院ともに仕組みを説明できるようにしておきましょう。ドント式での計算方法の確認と計算ミスがないように見直しましょう。

問5は、国務大臣の任命に関わる問題です。国務大臣に限らず、「任命」と「指名」に関する部分が政治分野では間違いやすいので注意しましょう。

【7】経済分野からの出題です。

問1は、日本の社会保障制度に関する問題です。各制度の具体的な例と合わせて整理する必要があります。

問2は、市場機構に関する問題です。図を読み取るにあたって、「需要曲線」と「供給曲線」の形について知っておく必要があります。また、図中の具体的な数値を読み取る力も身に付けましょう。

問3は、日本銀行が実施する金融政策の公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）に関する問題です。好況期と不況期にどのような政策で景気の安定化を図るか、図を暗記するのではなく、仕組みを理解することが大切です。

問4・問5は、寡占市場に関する問題です。「独占市場」や「寡占市場」は具体例が教科書等にも必ず載っています。具体例と一緒に整理するとともに、「寡占市場」の弊害を無くすための決まりを整理する必要があります。特に「公正取引委員会」・「独占禁止法」が重要語句です。